

中期目標の達成状況に関する評価結果

広島大学

平成21年3月

独立行政法人大学評価・学位授与機構

I 教育に関する目標

1. 評価結果及び判断理由

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「教育に関する目標」に係る中期目標（4項目）のうち、1項目が「良好」、3項目が「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

2. 各中期目標の達成状況

(1) 教育の成果に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「教育の成果に関する目標」の下に定められている具体的な目標（7項目）のうち、1項目が「良好」、6項目が「おおむね良好」であり、これらの結果に加え、学部・研究科等の現況分析における関連項目「学業の成果」「進路・就職の状況」の結果も勘案して、総合的に判断した。

(2) 教育内容等に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「教育内容等に関する目標」の下に定められている具体的な目標（7項目）のすべてが「おおむね良好」であり、これらの結果に加え、学部・研究科等の現況分析における関連項目「教育内容」「教育方法」の結果も勘案して、総合的に判断した。

(3) 教育の実施体制等に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「教育の実施体制等に関する目標」の下に定められている具体的な目標（4項目）のうち、2項目が「良好」、2項目が「おおむね良好」であり、これらの結果に加え、学部・研究科等の現況分析における関連項目「教育の実施体制」の結果も勘案して、総合的に判断した。

(4) 学生への支援に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況が良好である

[判断理由] 「学生への支援に関する目標」の下に定められている具体的な目標（1項目）が「良好」であることから判断した。

3. 優れた点、改善を要する点、特色ある点

(優れた点)

- 中期計画で「学生就職センターの担ってきた機能を拡充した「キャリアセンター」を設置」するとしていることについて、「キャリアセンター」において、キャリア教育科目の開講等、入学時から総合的にキャリア支援を行った結果、学部卒業者・大学院博士前期課程修了者を併せた就職率の増加という成果が上がっていることは、優れていると判断される。
- 中期計画で「アドミッションセンターを「入学センター」として改組・拡充し、入学選抜に係る総合的な広報活動などを全学的に行う」としていることについて、入学選抜制度を全学的視野で見直した上で、大学説明会や高等学校の教員を対象にした入試説明会を実施し、多くの参加者を得ており、さらにオープンキャンパスの充実を図るなど、全学を挙げて入試広報活動を広く多方面に行っていることは、大学としての情報発信力を増している点で、優れていると判断される。
- 中期目標で「外国語による高度なコミュニケーション能力を育成する」としていることについて、既存の情報メディア教育研究センターを改組・分離して「外国語教育研究センター」を設置し、英語とドイツ語の特定プログラムを開講したこと、また、同プログラム受講生について、英語に関しては TOEIC 平均得点、実用英語技能検定準1級合格者がともに伸び、ドイツ語に関してはドイツ語技能検定試験3級に極めて多くの学生が合格するなどの成果を上げていることは、優れていると判断される。
- 中期目標「学習環境を整え、学生相談体制を強化するなどして、学生への支援を効果的に行う」について、学生総合支援センターを設置して経済支援等を含めた学生支援体制を一元化し、また、ハラスメント対策に関しては、ハラスメント相談室を設置してハラスメントの予防対策・相談体制を充実させ、さらに、特色ある大学教育支援プログラムの採択を受けて障害者への学習に関する支援体制も充実させている。これらの取組により、相談・支援体制が強化され、学生への支援が効果的に行われていることは、優れていると判断される。

(改善を要する点)

- 中期計画「学会発表、内外の学術専門誌への掲載論文の質や数で成果を検証する」について、論文の数についてはデータの収集・整理等を行っているものの、質の検証が十分とはいえないことから、改善することが望まれる。

(特色ある点)

- 中期計画「国際的な水準に必要とされる専門教育の内容を含めたカリキュラムを編成する」について、グローバルな視点によるカリキュラム編成を目的とした全学レベルの大学院教育ファカルティ・ディベロップメント (FD) を実施したことや、大学院

課程教育の施策を基に大学院教育改革に取り組んだことは、平成 19 年度に大学院教育改革支援プログラムに 5 件も採択されていることから、特色ある取組であると判断される。

- 中期計画「課外活動及びボランティア活動を教育の一環として評価する」について、広島大学が課外活動を教育の一環と捉えることを学生評価の新しい方法の一つと考え、その推進のために、教職員に対し「指導者人材バンク登録」の募集を行うなど、指導者の養成と確保を組織的に整備していることは、特色ある取組であると判断される。
- 中期計画「学生生活上におけるトラブル及び不測の事態を想定した安全教育及び防止対策を充実させる」について、平成 17 年度から新入生を対象に「学生生活概論」を開設するとともに、学生生活担当の教職員を対象に「学生の自殺防止」、「悪質商法」、「カルト事情」等に関するファカルティ・ディベロップメント（FD）を実施して、安全教育及び防止対策を総合的に行って実績を上げていることは、特色ある取組であると判断される。

II 研究に関する目標

1. 評価結果及び判断理由

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「研究に関する目標」に係る中期目標（2 項目）のすべてが「おおむね良好」であることから判断した。

2. 各中期目標の達成状況

(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「研究水準及び研究の成果等に関する目標」の下に定められている具体的な目標（5 項目）のすべてが「おおむね良好」であり、これらの結果に加え、学部・研究科等の現況分析における関連項目「研究活動の状況」「研究成果の状況」の結果も勘案して、総合的に判断した。

(2) 研究実施体制等の整備に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「研究実施体制等の整備に関する目標」の下に定められている具体的な目標（4 項目）のうち、1 項目が「良好」、3 項目が「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

3. 優れた点、改善を要する点、特色ある点

(優れた点)

- 中期計画で「萌芽的研究については、独創性の高い分野・研究を特に重視し支援する」としていることについて、「広島大学研究支援金」等、大学独自の研究支援資金により、若手教員の支援とその検証を行ったことにより、科学研究費補助金の採択率の向上等の成果が認められたことは、優れていると判断される。
- 中期計画で「大学として重点的に取り組む領域を中心に学術研究推進のために必要な研究者等の重点的配置を行う」としていることについて、21世紀COEプログラム採択拠点のために学長裁量人員の中から重点的に人員配置を行っていることにより、各拠点の中間評価及び最終評価が「A」又は「B」と評価されていることは、教員の重点的配置が効果的になされて意欲的に研究が推進されている点で、優れていると判断される。

(特色ある点)

- 中期計画「広島大学における平和科学研究の在り方を検討する。」について、平和希求委員会を設置し、ここでの検討を基に講演会、セミナー等を実施しているほか、平和科学研究センターにおいて多方面からの平和科学研究が展開されていることは、広島大学独自の理念を具現化する、特色ある取組であると判断される。

III その他の目標

(1) 社会との連携、国際交流等に関する目標

1. 評価結果及び判断理由

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「社会との連携、国際交流等に関する目標」に係る中期目標（1項目）が「おおむね良好」であることから判断した。

2. 各中期目標の達成状況

(1) 社会との連携、国際交流等に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「社会との連携、国際交流等に関する目標」の下に定められている具体的な目標（3項目）のうち、1項目が「良好」、2項目が「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

3. 優れた点、改善を要する点、特色ある点

(優れた点)

- 中期計画「公開講座などの大学の機能的開放事業や正課教育開放事業などを積極的に推進するため、「エクステンションセンター」を設置する。」について、同センターにおいて公開講座、放送セミナー、広島夕学講座、高大連携事業等の地域連携事業を継続していることは、受講者数も多く、満足度も高いことから、期待された成果が上がっている点で、優れていると判断される。

(特色ある点)

- 中期計画「独立行政法人国際協力機構、NGO・NPO、国際機関の教育・研究・医療・技術支援等の活動への参加を促進する。」について、平成16年度に独立行政法人国際協力機構（JICA）から国際協力プロジェクトを受託して、複数の機関と多くの国際協力に関する包括協定を締結したほか、国際協力事業に関するファカルティ・ディベロップメント（FD）、スタッフ・ディベロップメント（SD）セミナーも開催していることは、特色ある取組であると判断される。